

JENESYS2021 日カンボジア・オンライン交流 ～日本の魅力探訪～（文化）の記録

1. 概要

【目的】将来を担うカンボジアの青年に対して、日本を理解するためのプログラムを提供し、日本とカンボジアの繋がりや日本の魅力を積極的に発信してもらうことにより、海外における日本紹介強化を主目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】カンボジアの高校生、大学生、大学院生、社会人 計 45 名

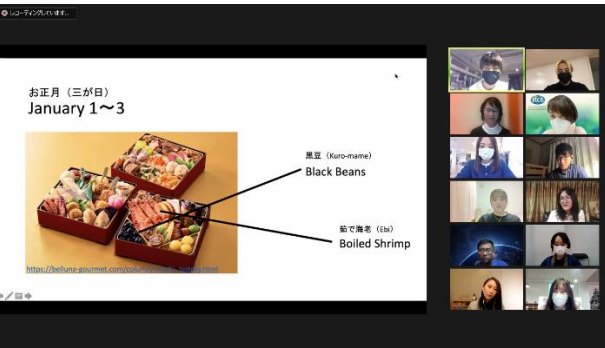
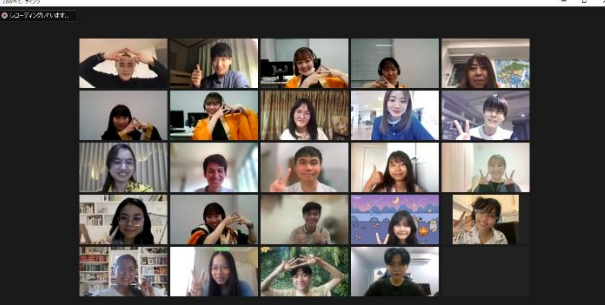
【訪問地】東京都、茨城県、北海道

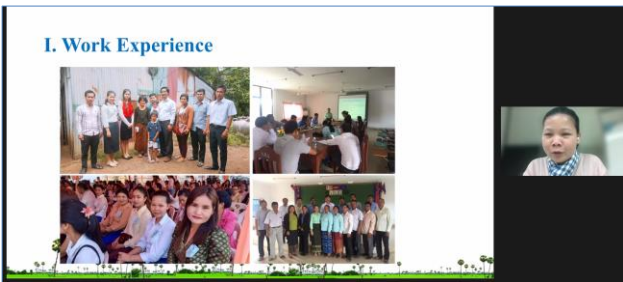
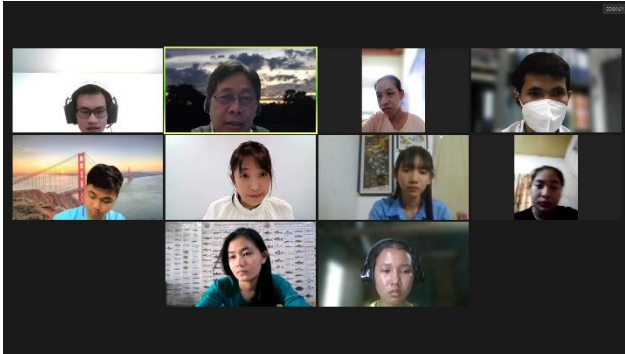
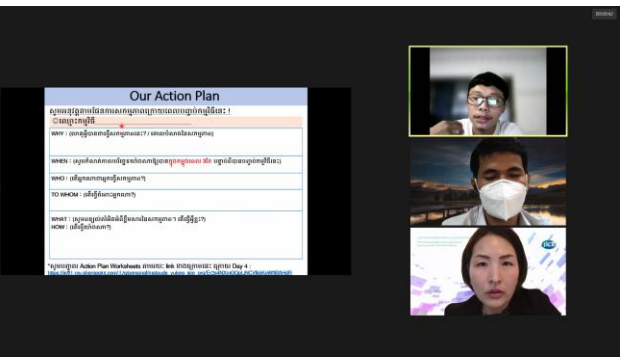
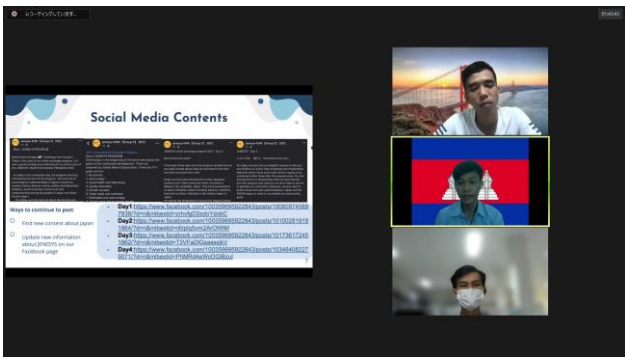
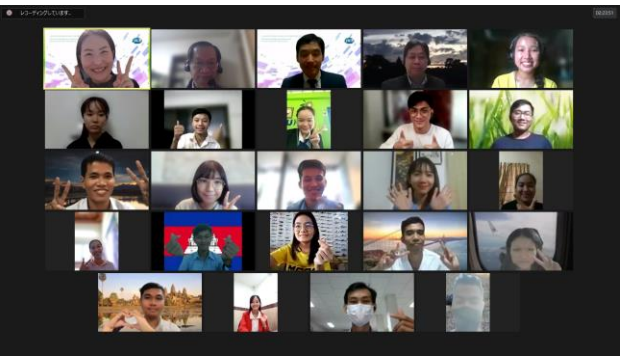
【日程】

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下の 2 日間の参加人数：35 名		
2021 年 11 月 18 日 東京都、茨城県	【視察・質疑応答】 1. 概要説明・日本の食文化と茨城県の食に関する紹介（茨城大学学生） 2. 視察・VTR 視聴 「日本の食文化と、茨城県の食および食品産業」 視察先：キューピー株式会社五霞工場 3. 質疑応答	参加者は、日本の食文化や、食品加工工場の様子に大変興味を持った様子でした。視察先であるキューピー株式会社の歴史、企業理念、海外展開に関する質問や、日本食の調味料の使用について等、様々な質問が参加者から上がりました。
2021 年 12 月 18 日 北海道 札幌市	【学校交流】 北星学園大学（北海道）演舞同好会、短期大学部英文学科、文学部英文学科、大学院文学研究科、経済学部経済法学科 計 18 名 1. 演舞同好会：よさこい演舞ライブパフォーマンス 2. 演舞同好会：よさこいの歴史についてのスライド発表 3. 短期大学部英文学科学生：日本文化を紹介プレゼンテーション 4. グループ別交流会	北星学園大学演舞同好会の生配信の演舞を見て、カンボジア参加者は一様に感銘を受けた様子でした。 日本を紹介するスライド発表では日本特有の季節の楽しみ方が紹介されました。特に北海道の冬の生活の様子には、雪が降らないカンボジアの学生は強い関心を持っていました。 日本に憧れを持っているカンボジア学生も多く、同年代の日本人と直接英語で会話ができたことを喜んでいました。
以下 5 日間の参加人数：10 名（以下のプログラムは、他のプログラムと合同で実施）		

2022 年 2 月 10 日～	【動画視聴】 1. ホームビジット体験 2. 日本文化理解（京都）	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。
2022 年 2 月 16 日 東京都	【オリエンテーション】【ウェビナー・交流】 1. 自己紹介（グループ別） 2. 日本理解講義・質疑応答 「日本社会と文化」 講師：アンドラディ 久美 氏 3. カンボジアの JDS 留学生※のプレゼンテーション 「日本での留学生活について」 発表者：フン スレイ パウ氏 4. グループ別交流 ※人材育成奨学計画（The Project for Human Resource Development Scholarship：通称 JDS）：政府の「留学生受入 10 万人計画」の下、実施されている無償資金協力による留学生受入事業。	日本理解講義では、地理・気候、日本人の特徴、交通手段、習慣・伝統、食文化・居住環境など日本を初めて訪問する人にとって基礎知識が習得できる機会となりました。参加者からは、「日本が自然災害から国民を守るための政策」「時間厳守などの良い習慣を身に付けるためにどのようなことをしているのか」「日本で多宗教を受け入れている理由とその背景」など多岐に渡る質問が挙がりました。 カンボジアの JDS 留学生からも、日本での生活についてのプレゼンテーションがあり、参加者は興味をもって聞き入っていました。
2022 年 2 月 17 日 北海道恵庭市	【地方企業視察・交流】 1. 講義 「Everything started with “Food”. – All of the issues are connected to Sustainability and SDGs-」 講師：株式会社アレフ SDGs 推進委員会委員長 エコチームリーダー 高田 あかね氏 2. グループ別交流	本講義では、食から SDGs につながる同社独自の取り組みとして、直営またはフランチャイズ店舗のレストランから出る生ゴミを資材・堆肥化し、近隣農家がその肥料を使って野菜の生産などに活用するという実例が紹介されました。食品廃棄物の削減と循環型農業の一助となっていることを知った参加者は、日本における環境配慮の取り組みについて高い関心を示しました。
2022 年 2 月 21 日 東京都	【ワークショップ】 1. プログラムの振り返り 2. アクション・プラン策定、発表準備	プログラム全体を通した学びから、各グループに分かれてアクション・プランを策定し、報告会に向けて発表の準備を行いました。
2022 年 2 月 22 日 東京都	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評	プログラム後3か月以内に実施するアクション・プランについて英語と日本語で発表しました。日本について幅広い対象に発信する独創的なプランがいくつも提案されました。

2. 記録写真

	
2021 年 11 月 18 日【視察・質疑応答】	2021 年 11 月 18 日【視察・質疑応答】
	
2021 年 12 月 18 日【学校交流】演舞同好会によるよさこい演舞生配信	2021 年 12 月 18 日【学校交流】演舞同好会による日本舞踏・よさこいの歴史紹介
	
2021 年 12 月 18 日【学校訪問・交流会】英文学科学生による日本文化紹介	2021 年 12 月 18 日【学校交流】グループ別交流会の様子
	2021 年 12 月 18 日【学校訪問・交流会】全体集合写真

	
2022 年 2 月 16 日【ウェビナー】JDS 留学生のプレゼンテーションの様子	2022 年 2 月 17 日【地方企業視察・交流】グループ別交流で環境問題やリサイクルに関連する質問をする参加者
	
2022 年 2 月 21 日【ワークショップ】アクション・プランを作成する様子	2022 年 2 月 22 日【報告会】アクション・プランの発表をする参加者
	2022 年 2 月 22 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加高校生

今日のプログラムから多くのことを学び、参加できて本当に嬉しかったです。私にとって日本について理解を深めることができる素晴らしい機会でした。このプログラムを実現してくれたすべての方々の努力に感謝し、またプログラムに参加できることを楽しみにしています。

◆ 参加高校生

オンラインイベントに参加することができて大変満足しています。プログラムから多くのことを学

び、工場も見学しました。私が最も興味を持っているのは、日本人の創造性と食材を無駄にしない慣習です。最後に、私に参加する機会を与えてくれた主催者と茨城大学の学生にお礼を伝えたいです。知識の共有に尽力してくれたこと、そして日本から私たちを温かく歓迎してくれたことに感謝いたします。

◆ 参加高校生

JENESYS カンボジアバーチャルツアー「日本の食文化と食品工場」に参加して、廃棄食材を出さない調理方法など、数多く学ぶことができて嬉しかったです。

◆ 参加大学生

素晴らしいプログラムでした。(ダンスや英語を学ぶ日本の学生、日本に興味のあるカンボジアの学生等) 多様な学生同士が交流を深めることができ、自国の文化について理解を深め合う良い機会となりました。このプログラムに参加して意義深い時間を過ごしました。

◆ 参加大学生

このプログラムに参加して、日本の方と交流する機会に恵まれて本当に良かったです。参加者全員で SNS の連絡先を交換して、プログラムで知り合った人と今後も友達としてつながっていけると良いと思います。今後、このようなプログラムに参加する機会を見つけたら、ぜひまた参加したいです。

◆ 参加大学生

参加してとても良かったです。参加者が経験を得るだけでなく、コミュニケーションスキルを磨く良い機会だったと思います。

◆ 参加大学生

この交流プログラムにオンラインで参加することができ本当に嬉しいです。日本についていろいろと勉強することができました。さらに大好きなグループメンバーと出会こともできました。

◆ 参加大学生

このプログラムは参加者にとって多くの知識・知見を共有することができると感じました。

◆ 参加大学生

このプログラムが好きです。新しい友人を作ることもでき、さらに日本についてより深く勉強をすることができます。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校学生

英語が苦手であり話せなかったのですが、自分なりに頑張ってコミュニケーションを取ったら、カンボジアの学生がニコニコして聞いてくれ嬉しかったです。

◆ 交流校学生

とても楽しかったですし、新型コロナウイルス感染症の影響する中において貴重な経験となりました。

◆ 参加大学生

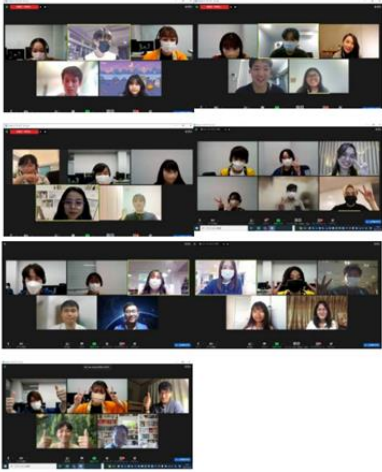
また違う国の人達とも交流してみたくなりました。

5. 参加者の対外発信等



2021 年 12 月 18 日（Facebook）

今日のバーチャルイベントに参加できてとても嬉しいです。日本の文化について多くのことを学びました。貴重な経験をありがとうございました

JENESYS 2021プログラムに本学学生が参加しました 2021年12月23日 12月18日（土）に、「JENESYS 2021」プログラムが行われ、本学の学生がオンライン交流会に参加しました。  JENESYS ((対日理解促進交流プログラム))とは: 日本政府が推進する国際交流事業で、日本とアジア太平洋の各国・地域との間で、二国間・地域間関係の発展や対外発信において、将来を担う人材を招へい及び派遣、又はオンライン交流を通じて、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、未来の懸日派・知日派を育成するプログラムです。	2021 年 12 月 23 日（北星学園大学 HP） JENESYS2021 プログラムに本学学生が参加しました。 12 月 18 日（土）に、「JENESYS 2021」プログラムが行われ、本学の学生がオンライン交流会に参加しました。（中略） 今回のプログラムでは、オンライン上でカンボジアの学生を主とした参加者グループと本学学生グループが文化紹介を通じて交流しました。 本学演舞同好会が Zoom を通して演舞を配信発表し、本学短期大学英文科学生による日本文化の紹介プレゼンテーションを行いました。いずれの発表にも、カンボジアからの参加者の方々は「素晴らしい」、「新しい発見だった」とコメントをくださいました。 発表の後は、本学の有志学生も交えてのグループセッションを行いました。当日は共通言語として英語を使用していたが、身振り手振りやオンラインならではのチャットを活用しながら、楽しく交流ができました。 互いの文化を学びあうだけでなく、離れた場所の異なる文化圏の方とのコミュニケーションを実践的に学べる場となりました。（後略）
[JENESYS- DAY 1] Pay all the respect from group D to everyone! It was such a wonderful exchange program which we could attend by online. Really appreciate and thank you for this opportunity from JICE. The program starts today at 2:00pm GMT+7. Due to the pandemic over these 2 years, we, as students, have had a lot of experiencing in joining online meeting already. But still, we felt nervous and exciting all at the same time.... See more 	Day 4 of JENESYS ASEAN ONLINE EXCHANGE PROGRAM 🌸 We had been discussing and finalizing our Action Plan worksheet and Presentation Materials about future action plan which is going to be conducted in the next three months in which its purpose is to disseminate what we have learned from the program and what we can do to help our community. Seems like the exchange program is about to end, but this is going to be the memorable moment and what's even more precious is all of the priceless knowledge, experience we have received from JENESYS. Mata Ashita, Mina sama! #JENESYS_ASEAN
2022 年 2 月 16 日（Facebook） グループから全ての人に敬意を払います！	2022 年 2 月 21 日（Facebook） JENESYS ASEAN オンライン交流プログラム 4

オンラインで参加できる素晴らしい交流プログラムでした。JICE からこのような機会をいただき心から感謝いたします。プログラムは今日 2 時 (GMT+7) に始まりました。パンデミックのため、この 2 年間私たち学生は、オンライン会議に参加した経験があります。それでも、緊張と興奮を同時に感じていました。

JENESYS オンライン交流プログラムに参加して、日本について文字通り多くのことを学びました。今日のプログラムは、主にオリエンテーションと日本文化に関するものでした。日本の地理的特徴、気候、国民、社会、文化を紹介していただきました。日本は、技術が高く経済面でも豊かな国であるにもかかわらず、日本文化は多種多様です。私が一番驚いたのは、日本人は複数の宗教を信じていることです。神道は日本の人口の 49%、仏教は 26% の信者がいます。素晴らしい一日でした。私たちはこのプログラムで学び、SDGs について話し合う 2 日目を楽しみにしています。

日目！

今後 3 か月間実施するアクション・プランについて、ワークシートとプレゼンテーション資料について議論し、最終決定しました。プログラムから学んだことを広め地域社会を助けるために何ができるか考えました。

交流プログラムの終了のようですが、JENESYS に参加して得た、貴重な知識、経験のすべてが大切なもので思い出に変わる瞬間です。

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

	「ゴミの分別について」
Our Action Plan プログラム後に Action Plan を実行しましょう！ ◎プロジェクト名 <u>ごみの分別について</u> WHY: (なぜこのプロジェクトを実施するのですか / プロジェクトの目的) ごみの分別及びその管理は必要な行為であり、都市部や地方に関係なく国民全員の参加は不可欠である。 WHEN: (プログラム後 3 か月以内で設定してください) 3 月と 4 月の間。 WHO: (誰が実行しますか) グループ E のメンバー TO WHOM: (誰に向けて実施しますか) Facebook 利用者、地方の皆さん特に学生。 WHAT: (具体的に何をしますか) 各種ごみの分別及びその管理、開発の一環であることを説明する。 HOW: (どのようにプロジェクトを実行しますか) ビデオ映像による Facebook への投稿及びコミュニティでの直接のプレゼンテーション。	■ 実施理由：ゴミの分別及びその管理は必要な行為であり、都市部や地方に関係なく国民全員の参加が不可欠であるため。 ■ 実施期間：3～4 月 ■ 実施する者：グループメンバー ■ ターゲット：Facebook の利用者、地方、特に学生 ■ 実施計画：各種ゴミの分別及びその管理、それらが開発の一環であることを説明します。 ■ 実施方法：ビデオ映像による Facebook への投稿及びコミュニティでのプレゼンテーション

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)